

万博入場 ID 登録方法についての変更—検証はしないのか—

本年 2 月頃では、万博 ID の登録に関し、名前・性別・電話・メール以外の、企業・団体名、部署名、役職、SNS アカウント情報、パスポート番号、国籍などなど極めて個人的な情報まで入力強いられていた。私は万博には行きたいとは思っていたが、これらの個人情報の入力に抵抗感があり登録しないでした。しかし本日、妻が万博 ID 取得するためにネットアクセスすると、年齢と性別と誕生日と電話番号の入力だけで登録できたとのことだった。

れいわ新選組から、国会で当初の多くの個人情報を入れなければならない入力方法を批判されたために、変更されたかもしれない。変更されたことは好ましいことであるが、それに至る経過については ChatGPT で調べても発表されていないようである。

いつものことだが、医療関係でも 2 つの同様のことが身近にあった。後期高齢者ではマイナ 保険証を持った人には当初は資格確認書送らないということであった。しかし、多くの医療団体が反対したためか、後期高齢者全員に資格確認書を送るということに最近変更された。

ベースアップ評価料の適用は、当初は看護師だけだったが医療団体からの要望により受付医療スタッフにも適用拡大になった。

この 2 つのことについても最初決定した部署はどういう目的でこのようなことを考えたのか、そしてそれをいまは間違っていると評価しているかの検証がないのである。システムを改善していくための必須であるこの検証という文化が、日本特に行政機関にはないのを情けなく思う。

保険医協会には国に決められたものに対しての改善を交渉することに加えて、この検証についても国に返答を求める様に意見してほしい。

2025. 5. 5